「キャリア・パスポート」を活用した授業例　年度末

1. 小学校　特別活動
2. 低～高学年　学級活動（３）「一人一人のキャリア形成と自己実現」

　　　　　　　　　　　　　　ア　現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

1. 題材「１年間をふり返ろう」
2. 事前の指導

▶キャリア・パスポート「１年間をふり返りましょう」の１年間の振り返りの部分を記入しておく。

・楽しかったことやできるようになったこと

・がんばったことや成長したこと

▶次の学年で楽しみにしていることやがんばりたいことのアンケートをとり、まとめておく。

1. 本時の学習

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 児童生徒の活動 | 指導の留意事項 |
| 導入  つかむ | ○アンケート結果から、気付いたことを話し合う。  ・友達が楽しみにしていることやがんばりたいと思っていることを知る。  ○今年度記入したワークシートや教材などのポートフォリオや「キャリア・パスポート」を参考にしながら、１年間の生活や学習を振り返り，自分たちの成長を話し合う。  ・印象に残った出来事  ・自分が成長したと感じること  ・自分と同じように，仲間も成長していることに気付く | ▸学校生活が振り返れるように，写真等を掲示したり，これまで記録したポートフォリオなどを用意したりしておく。  ▸学校以外での成長についても触れる。  ▶話合いを生かして，様々な経験により，一人一人が成長したことを実感させる。  ▸互いの成長を喜び合える雰囲気を大切にする。 |
| 展開  さぐる  見つける | ○次の学年に向けてなりたい自分を思いえがく。  ・上学年の姿を想起させ、大まかななりたいイメージをもつ。  ○なりたい自分に向けて、今から取り組むことについて話し合う。  ・これから挑戦したいことや、継続して取り組みたいこと等について話し合う。  ・実践可能な具体的な内容となるようにする。 | ▸上学年の姿を想起させたり、上学年からのビデオレターやメッセージを紹介したりすることで、イメージをもちやすくする。  ▶なかなか書けない児童がいたら，児童の素直な思いが引き出せるように助言する。 |
| 終末  決める | ○話し合ったことをもとに、自分に合った具体的な目標や実践方法を意思決定し、「キャリア・パスポート」に書く。  ・具体的なめあてや実践内容を決める。  ・次の学年への前向きな気持ちが高まるようにする。 | ▶次の学年へ向けて，残りの学校生活を有意義に過ごせるようにする。 |

1. 事後の指導

▶決めた目標について，○年生最後の日まで取組を続け，振り返りを行う。

低・中学年の場合は１週間程度など期間を決めて実践し、振り返るようにする。